

令和3年9月3日

報道関係者各位

大阪府 茨木市

地域開放施設での運用は府内初の取組み！

～施設予約システムと連動したスマートロックのモデル導入について～

茨木市は、施設予約システムと連動したスマートロック※を導入するモデル事業として、三島コミュニティセンター（茨木市西河原二丁目7-12）の玄関自動扉、各会議室等での運用を8月25日から開始しました。コミュニティセンターのような地域開放施設での運用は、府内初の取組みとなります。

スマートロックのモデル導入は、本市が推進するDX（デジタルトランスフォーメーション）の一環として行うものであり、鍵の受渡しによる利用者と職員の接触機会が抑制でき、新型コロナウイルス感染拡大防止における「新しい生活様式」の取組みとなります。また、本市のコミュニティセンターは午後に職員が常駐しておらず、午後の利用者には当日午前中に鍵の受け取りのために来館いただいております。この来館が不要となるなど利用者の利便性向上にもつながるものです。なお、ロック解錠のための暗証番号は、施設予約システムで予約の際に自動で即時発行し、利用者へメールで通知します。

今回の三島コミュニティセンターに引き続き、令和4年3月には、春日コミュニティセンターへのモデル導入を予定しております。

※スマートロックとは、従来の物理的な鍵を使用せず、電子機器を使用して扉の解錠・施錠を行う鍵のことです。本市のスマートロックは、スマートフォン等の機器は不要で、暗証番号を入力することで解錠できます。

【問合せ先】

財産活用課長 西川裕二
担当（課長代理） 高石恵太
電話：072-655-2754

